



加湿器の掃除はクエン酸で!

加湿器は掃除が欠かせません!!

今年もインフルエンザが流行しましたね。風邪対策で部屋の乾燥を防ぐために加湿器を使っているご家庭は多いと思います。

加湿器の水でヌメリが出たり、フィルターに白い粉のようなものが付着しているのを見!!ってことありますか?

水のヌメリは雑菌によるもの、白い粉はカルキによるものです。

加湿器は定期的に掃除をしないと、カビや水垢、カルキで汚れてしまいます。部屋の中でカビが生えた汚れた空気を吸い込み続けると、風邪や肺炎などの病気を引き起こす可能性が高くなってしまいます。

また「加湿器から変な臭いがする」「しっかり加湿しない」「音がうるさくなる」「水の減りが早い」という症状が出てきて…加湿器の寿命を早めます。

これからも加湿器を大事に使うために、安心の「クエン酸」を使った掃除をご紹介します。

(by編集部:工藤)

特に注意は加湿器のフィルター掃除!!



- ①バケツや洗面器を使って・・・クエン酸を大さじ1、2Lのぬるま湯に溶かして、そこにフィルターを漬けるだけ!!
- ②水道水でしっかりすすぎ洗いをする。

●加湿器のフィルターの掃除は一月に2回ほどすると、大きな汚れにつながりません。

怠るとクエン酸でもなかなか落ちなかったり、雑菌が繁殖することになります。もしカルキがかなりついてしまったら…クエン酸を追加したり、何回かクエン酸つけ置きを繰り返してゆっくり落としていきます。

フィルターに白いカルキが付着!

落ちないところ、古い歯ブラシを使ってこする。浸け置き終わったらしっかり水道水で2分以上すすぎます。



●木曽路物産クエン酸

- ・300g…486円・600g…864円
- ・1kg…1,296円
- ・ボトルタイプ300g…486円

クエン酸の得意分野はこれ!

- 1、ミネラル分の原因の汚れを落とす：…水垢、石けんかす、尿石
- 2、アンモニア臭を消す：…トイレ、生ごみ、リビングのカーテン
- 3、抗菌する：…フローリング、スイッチ、ドアノブなど

タンクの中も雑菌がいっぱい!!クエン酸掃除を!

- ①クエン酸を大さじ1、3Lのぬるま湯に溶かして、このクエン酸水を加湿器タンクに入れて、一晩漬け置き状態にする。
- ②翌日、タンクの中のクエン酸水を捨て、よく水洗い。
- ③加湿器にセットする場合はよく乾燥させてから。



←こちらの写真。タンクトレイの中に菌が繁殖して水がピンク!

綺麗な水に入れ替えてクエン酸を投入。多少ぬるま湯の方が溶けやすいです。暫くつけ置いてから、細かい隅々は傷をつけないようにスポンジなどで処理。

●タンクの中のピンクのヌメリは・・・?

水道水は放っておくと20～30分ほどすると、徐々に塩素が抜けて水は劣化します。すると雑菌が繁殖して臭いやヌメリの原因に……。

このピンク色はカビ!赤かびは水分があればどこにでも発生します。主に浴室の床とか、排水溝周りに発生しやすく「ロドトルラ」と呼ばれ、俗名「赤色酵母」バクテリアの一種です。汚れを栄養源にしているので、日が経つと増殖します。黒カビ菌が出てくる「サイン!」でもあります。(黒カビ菌は危険!取り除くにも大変になる)やはり掃除対策は必要ですね。

HP夕刊フジより

■インフル猛威対策のはずが…超音波式加湿器で恐怖のレジオネラ菌感染、発症で致死率60～70% 若者も命の危険!

日本列島を厳寒が襲いインフルエンザや風邪が猛威を振るうなか、その対策の1つとして利用される加湿器が危ない。大分県国東(くにさき)市内の高齢者施設で昨年12月以降、80～90代の男性3人がレジオネラ菌に感染、うち90代の男性1人が肺炎で死亡する事故があったが、感染源とされたのが、加湿器だった。手入れの方法を間違えれば若い人も命に関わるというから衝撃的だ。

レジオネラ菌は、ビルの空調設備の冷却塔、共同入浴施設、ジャグジー、家庭の循環式浴槽など水温20度以上の人口環境水で発生する。風邪などと同じように気道感染し、2～10日の潜伏期間を経て肺炎を発病すれば、致死率は60～70%だという…。

どうして加湿器の掃除にクエン酸がいいのか

カルキがガッチリと付着!



●加湿器のトレイの隅やフィルターに白い塊のような物が残る・・・これはスケールと呼ばれる炭酸カルシウムで、アルカリ性です。

水には溶けないし、固まってしまうと取りにくい。クエン酸を使うとスケール(炭酸カルシウム)が酸で溶けて取りやすくなります。但し、多少時間が掛かりますが、浸け置きしておくとうっかりと取れます。

